

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-515977(P2009-515977A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-541285(P2008-541285)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/53 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 Q

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月16日(2009.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療的有効量の*Scutellaria barbata*の水溶性抽出物および薬剤的に許容可能な賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項2】

*Scutellaria barbata*の抽出物が、少なくとも一つの癌細胞株の*in vitro*での活性を低下させる、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

抽出物により阻害される癌細胞株が、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞、BT474細胞、またはMCNeuA細胞（乳癌細胞）、A549細胞、LLC細胞（肺癌細胞）、Panc1細胞、Panc02細胞（膵臓癌細胞）、PC-3細胞、LNCaP細胞（前立腺癌細胞）、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞（卵巣癌細胞）から選択される、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

*Scutellaria barbata*の抽出物が、少なくとも一つの癌細胞株中でアポトーシスを誘導する、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

抽出物によりアポトーシスが誘導される癌細胞株は、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞、BT474細胞、MCNeuA細胞（乳癌細胞）、A549細胞、LLC細胞（肺癌細胞）、Panc1細胞、Panc02細胞（膵臓癌細胞）、PC-3細胞、LNCaP細胞（前立腺癌細胞）、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞（卵巣癌細胞）から選択される、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

*Scutellaria barbata*の抽出物が、*in vitro*でG1期における細胞増殖停止を誘導する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項7】

G1期において細胞増殖が停止される癌細胞株が、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞

、BT474細胞、またはMCNeuA細胞（乳癌細胞）、A549細胞、LLC細胞（肺癌細胞）、Panc1細胞、Panc02細胞（膵臓癌細胞）、PC-3細胞、LNCaP細胞（前立腺癌細胞）、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞（卵巣癌細胞）からなる群から選択される、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

Scutellaria barbataの抽出物を含む、癌を治療するための医薬組成物。

【請求項 9】

抽出物がScutellaria barbata D. Donから調製される、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

癌が固形癌である、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

固形癌が上皮細胞癌である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

上皮細胞癌が乳癌または卵巣癌である、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記治療が、癌の増殖速度を低下させる、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記治療が、癌のサイズを低下させる、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記治療が、癌の寛解を誘導する、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

医薬組成物が経口組成物である、請求項8または9に記載の医薬組成物。